



Super  
SHIP

A-RB

# 小船SLS C 800 / C 1000

## 取扱説明書

このたびは、小船SLS-Cシリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
このシリーズは、軽量・コンパクト・ハイパワーを追求した新しい船リールとして、リールの脚をハンドル側によせ、クランクハンドルとスムーズで力強いギヤシステム、スーパーSHIPを採用しました。  
また、船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち

棚取りの精度が釣果の決め手となります。

そこで、小船SLS-Cシリーズではシマノ独自のSLSiK(シマノ・ラインプログラム・システム2)を搭載。

小船SLS-Cの機能をフルに引き出し、未永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存して下さるようお願い申し上げます。

特長 .....	2	0(ゼロ)セットの設定 .....	14
デジタルカウンターの各部の名称 .....	3	0(ゼロ)セットについて .....	15
各部の名称 .....	4	2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード .....	16
学習方法 .....	5	上からモードの実釣編 .....	17
学習方法 その1: PEライン(新素材糸)を巻かれる場合 .....	6	底からモードの実釣編 .....	18
学習方法 その2: ナイロン糸(メータのマークのない糸)を巻かれる場合 .....	8	船べり停止位置お知らせの表示点滅機構 .....	19
学習方法 その3: シマノ・デュラPE4号-200m(C800)Y5号-200m(C1000)を巻かれる場合 .....	10	電池の交換方法 .....	20
学習方法 その4: 下巻を行って学習する場合 .....	11	お取り扱い上の注意 .....	21
		仕様 .....	23
		故障かな?と思われたときは .....	24
		安全上のご注意/サービスネット .....	25

# 特長

## 1 しっかり握れてグラつかない、スーパーSHIPのハイパワー。

極限まで軽量コンパクトを追求したボディ設計は、しっかりと握り込むことができます。さらに、リールの脚をハンドル側によせ、クランクハンドルを搭載することで、巻き上げ時のグラつきを追放。スーパーSHIPを採用したギヤは、スムーズで軽い巻き上げを実現しました。

## 2 釣行後はザブザブ水洗いOKの洗ってメンテ対応。

## 3 錆に強いボールベアリングA-RB採用。

全てのボールベアリングはシマノ独自の表面処理により防錆効果を飛躍的に高めた「A-RB(ANTI-RUSTBEARING)」を採用しています。



## 4 SLSII(シマノ・ラインプログラム・システム2)を搭載。すばやく、正確にタナを狙えます。

リール本体からローラーをなくしたので、シカケの落下が速くなり、しかもローラーのスリップによる誤差もありません。

## 5 「上からモード」「底からモード」切り替えて棚の水深が一目でわかるカウンター。

船釣りの棚の取り方は釣場、釣り方、対象魚などにより、上(水面)からの水深で棚を取る方法と、いったんシカケを底に着け、底から何mか巻き上げて棚を取る方法の2種類があります。上から釣る時は水面からの棚の水深、底から釣る時は底からの水深といったように、場合に応じて重要な水深を一目で表示します。

## 6 下巻き自在のスプール下巻きライン&下巻きゲージ。

スプール下巻きラインと、下巻きゲージでピッタリに巻き上げられます。

## 7 小船SLS-Cシリーズだけの簡単操作。

正確な水深を表示させるための0セットシステム。

水深表示の点滅で竿を上げればシカケが手元にくる船べり停止位置お知らせの表示点滅機構。

高切れをしても安心なワンタッチ高切れプログラム補正システム。

精密な棚取りができる0.1m単位のデジタル表示。(100m以上は1m単位)

スタードラッグは、スムーズで強力な締付力を実現するカーボンワッシャ採用。

ファインセラミックガイドリング採用のDDL(ダイレクトドライブレベルwind)。

ラインのからみにくい新設計レベルwind。

レベルwindで指をはさむのを防止するセーフティレベルwindカバー。

ハンドル長は79mmと60mmの切り替えが可能。(79mm...パワー巻き上げ用・60mm...高速巻き上げ用)

このクラスとしては目を見張るほどの軽量コンパクト化を実現。

# デジタルカウンターの各部の名称

## 現在の水深

「上からモード」の時は  
水面からの水深、  
「底からモード」の時は  
底からの水深を表示します。

## モードボタン

(6～13ページ参照)



ワンタッチ

押すごとに学習・指定・  
下巻の順でモードが  
切り替わります。

## ON/上底切替・OFFボタン

(6・16ページ参照)



ワンタッチ

電源をONにします。  
その後は押すごとに  
それぞれ底からモード・  
上からモードが  
切り替わります。

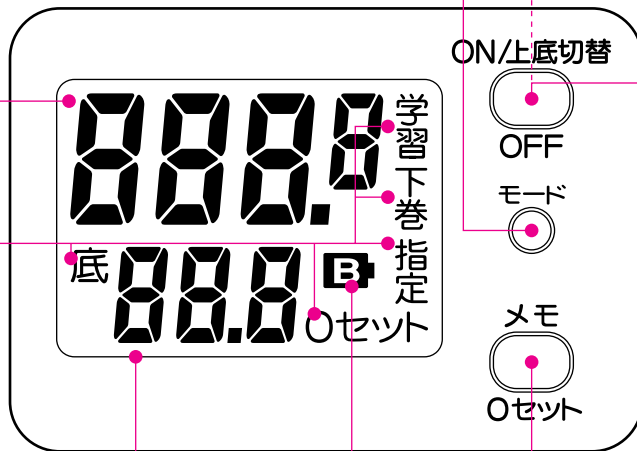


3秒以上

電源をOFFにします。

## 各種表示

底: 底からモード時に  
点灯します。点灯のない時  
は上からモードです。  
学習・指定・下巻:  
各モード時に点灯します。  
0セット: 0セット受付時  
に点灯します。



メモカウンター  
メモリーした水深を  
表示します。

電池の交換時期に  
なると点灯します。

## メモ・0(ゼロ)セットボタン

(14・15・17・18ページ参照)



ワンタッチ

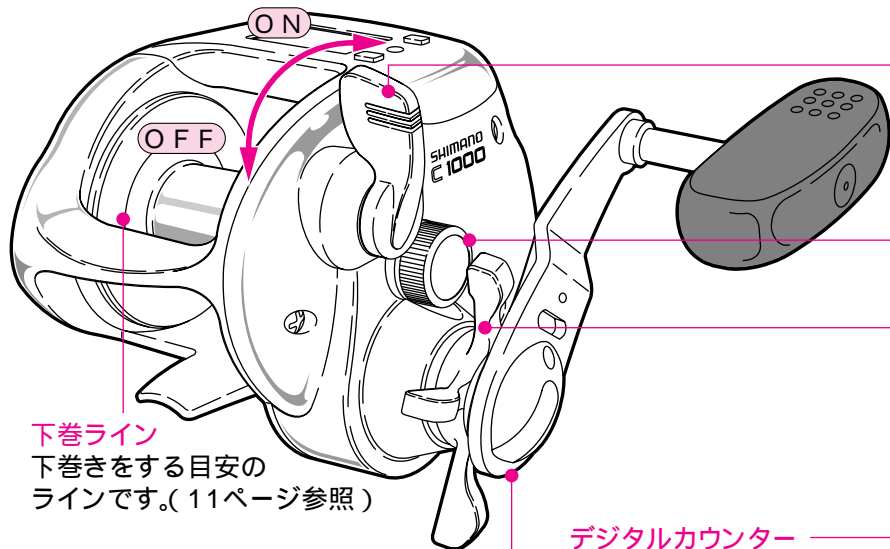
「上からモード」の時  
現在の水深をメモリー  
します。  
「底からモード」の時には  
同時に現在の水深が0.0に  
なり底からのカウントに  
なります。



3秒以上

0セットします。  
シカケを水面に合わせて  
0セットしてください。

# 各部の名称

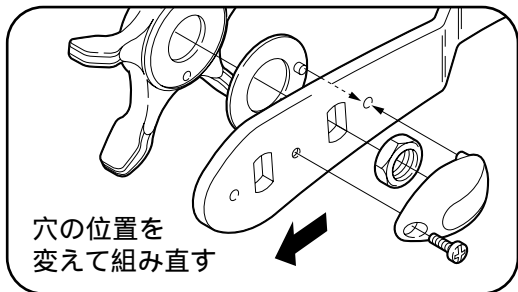


## 下巻ライン

下巻きをする目安のラインです。(11ページ参照)

## ハンドル

下図のように組み直すことで長さ79mmと60mmの切り替えが可能です。



## クラッチ

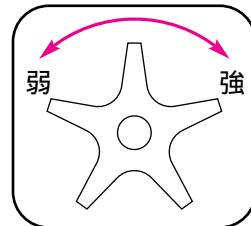
ハンドル正転または手で戻すとONになります。  
ON : シカケの巻き上げ  
OFF : スプールのフリーにしてシカケをおろします。

## スプールコントロールツマミ

スプールの回転にブレーキをかけてバックラッシュを防止します。

## スタードラグ

魚が強く引いた時ハリス切れをおこさないように糸を送り出す力を調整します。



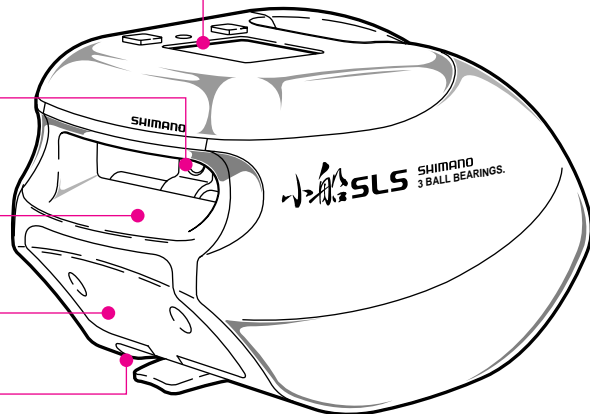
## デジタルカウンター

DDL(ダイレクトドライブレベルwind)

セーフティレベルwindカバー

バッテリーキャップ

ラインホルダー



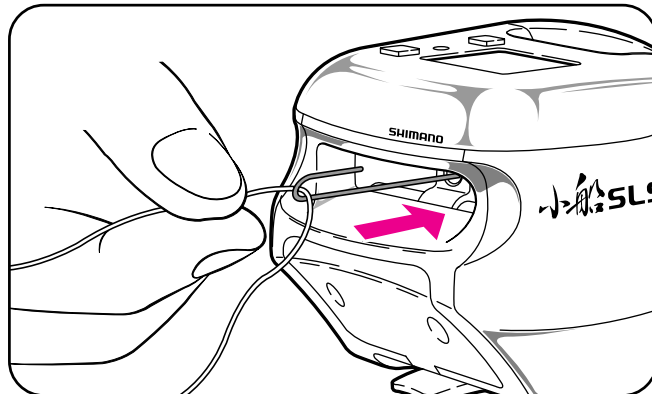
# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

最初に糸を巻く時や糸を巻きかえる時は、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。

操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

## 1 糸をセットします。



**1** 付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルウィンドに通します。

**2** 糸をスピールのピンに結んでください。

**3** 1～2回ハンドルを正転させスピールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

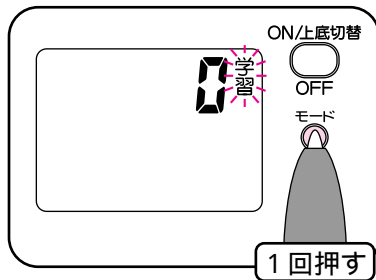
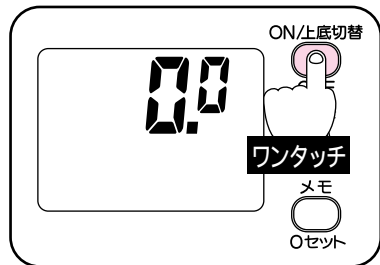
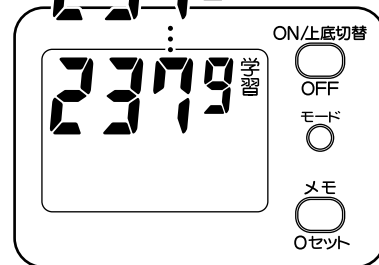
# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

## 2 その1: PEライン(新素材系)を巻かれる場合 学習モードを使用します。

ナイロン糸(メータのマークのない糸)を巻かれる場合は8・9ページをごらんください。  
また、デュラPE(新素材)4号-200m C800 /5号-200m C1000 巻いたデータはすでに  
インプット済みです。(指定モード・10ページ参照)  
下巻を行っての学習も可能です。(下巻モード・11ページ参照)

2377 ● スプールの回転数を表示します。

2378



- 1 電源ONを確認してください。  
液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合は、ON/上底切替・OFFボタンを3秒未満押し続けて電源をONにしてください。

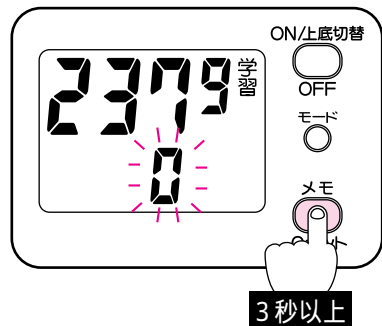
### 電源をOFFする方法

30分以上リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。  
ご自分でOFFにされる場合は、ON/上底切替・OFFボタンを3秒以上押し続けてください。

- 2 モードボタンを1回押すと「学習」が点滅して学習モードになります。  
モードボタンを2回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押し続けてください。  
(モードボタンはペン先のような先の細いものなどで操作してください。)

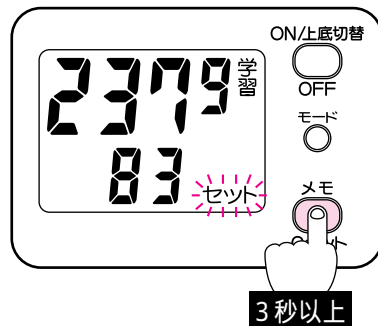
- 3 糸を巻いてください。  
回転数が表示されます。  
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約800gのテンションを目安にしてください。)

カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



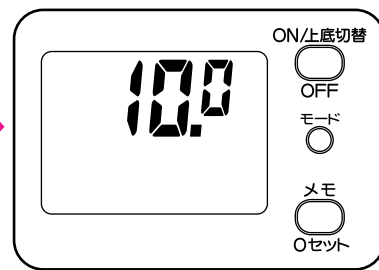
3秒以上

- 4** 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。  
表示は図のようになります。  
糸を正確に10m分引き出します。  
(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)  
糸を出しすぎた場合は10mまで巻き取ってください。



3秒以上

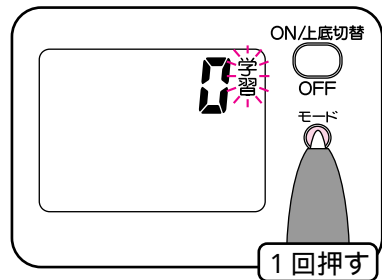
- 5** 回転数が下段に表示されます。  
学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。  
「セット」が表示されます。  
各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。  
この場合、糸を出して**2**からもう一度やり直してください。



- 6** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
(糸をプログラムする時と実釣時とのテンションの差、及び糸の伸びなどにより、カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)  
誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。
- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

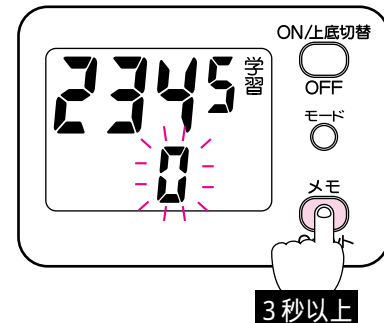
その2: ナイロン糸(メータのマーカのない糸)を巻かれる場合  
学習モードを使用します。



- 1** 電源ONを確認してください。  
モードボタンを1回押すと「学習」が点滅して、学習モードになります。  
(モードボタンはペン先のような先の細いものなどで操作してください。)

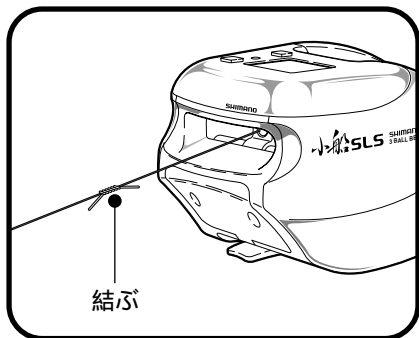


- 2** 糸を巻いてください。  
回転数が表示されます。  
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約800gのテンションを目安にしてください。)  
カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数字を示すわけではありません。

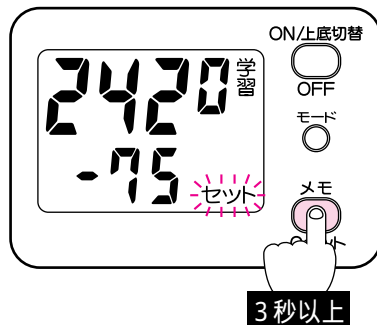


- 3** 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。  
表示は図のようになります。

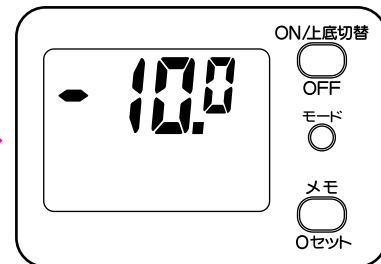




- 4** 巻き取った糸の先に長さ10mの別の糸を結びつけます。



- 5** 結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。  
各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。この場合、糸を出して**1**からもう一度やり直してください。

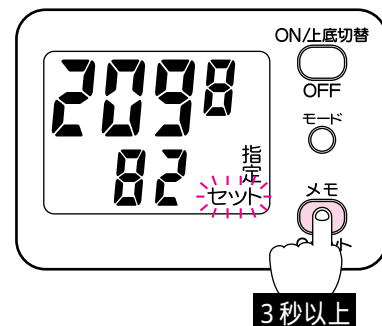
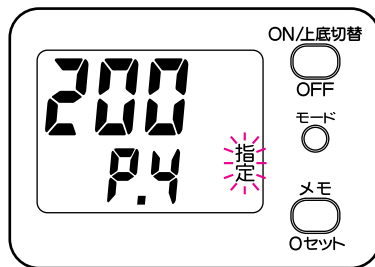
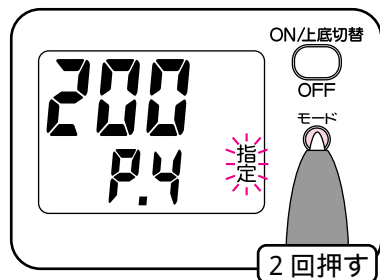


- 6** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
(糸をプログラムする時と実釣時とのテンションの差、及び糸の伸びなどにより、カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。) 誤差とは、学習後最初の1投目の誤差です。
- 7** 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください。

# 学習方法 (インプットずみのラインデータも使用できます。)

その3: シマノ・デュラPE4号-200m(C800) / 5号-200m(C1000) を巻かれる場合  
指定モードを使用します。

このリールには上記のラインデータがインプットされています。この糸を巻かれる場合は次のような操作をしてください。



- 1** モードボタンをペン先のような先の細いもので2回押してください。「指定」が点滅、図のように表示され、指定モードになります。(C1000の場合は下図の表示になります。)



- 2** 糸を巻いてください。表示はこの時変化しません。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。(約800gのテンションを目安にしてください。)

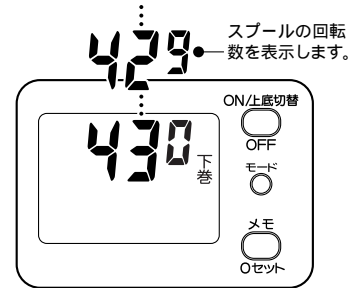
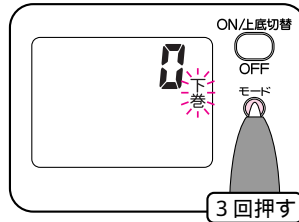
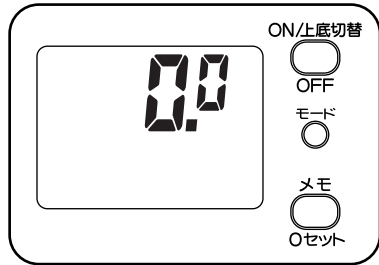
- 3** 糸を完全に巻き終えたら、学習を終了するためメモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになり、「セット」が表示されます。

カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。

# 学習方法(下巻をした後で学習が行えます。)

## その4:下巻を行って学習する場合 下巻モードを使用します。

スプール下巻きライン、あるいは下巻きゲージの使用によりそれぞれ下表の号数を巻くことができます。



- 4** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
(先に指定糸を巻き取り、**1 3 4**の順で学習を完了することも可能です。)

ご注意:他社の糸を使用される場合、カウンターの誤差が3%を超えて生じる場合があります。

- 1** モードボタンをペン先のような先の細いもので3回押してください。  
「下巻」が点滅、図のように表示され、下巻モードになります。

- 2** 次ページの要領で下巻き用の糸を巻いてください。

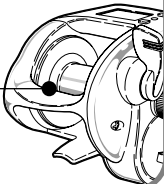
回転数が表示されます。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。(約800gのテンションを目安にしてください。)

カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。

品番	C800	C1000
下巻ライン (号-m)	3-200	4-200
下巻ゲージ (号-m)	3-100	3-100
	3-150	3-150
	3-200	3-200
下巻ゲージ (号-m)	4-100	4-100
	4-150	4-150
	5-100	5-100

スプールの下巻きライン  
使用の場合

スプールの  
下巻きラインまで  
下巻します。



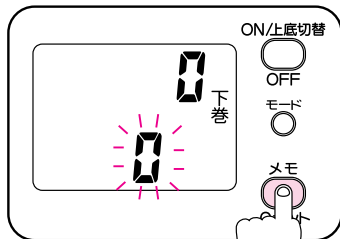
付属ゲージ使用の場合

垂直に  
差し込む

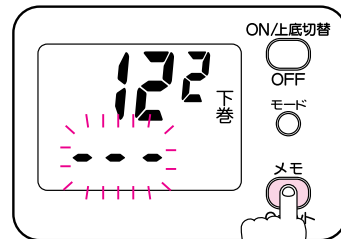
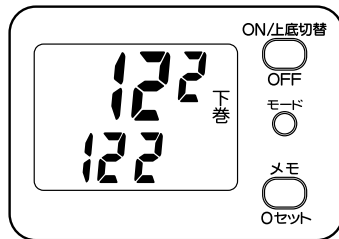
号数マークを  
スプール外周  
に合わせる



上図のように付属のゲージを  
スプールに垂直に差込み、号数  
マークをスプールの外周に合わ  
せます。スプールとゲージの間  
にできたすき間(図の斜線部)  
が下巻をする範囲です。ゲージ  
に当たるまで下巻をしてください。



3秒以上

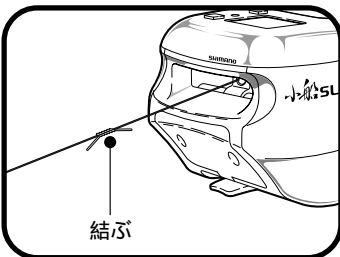


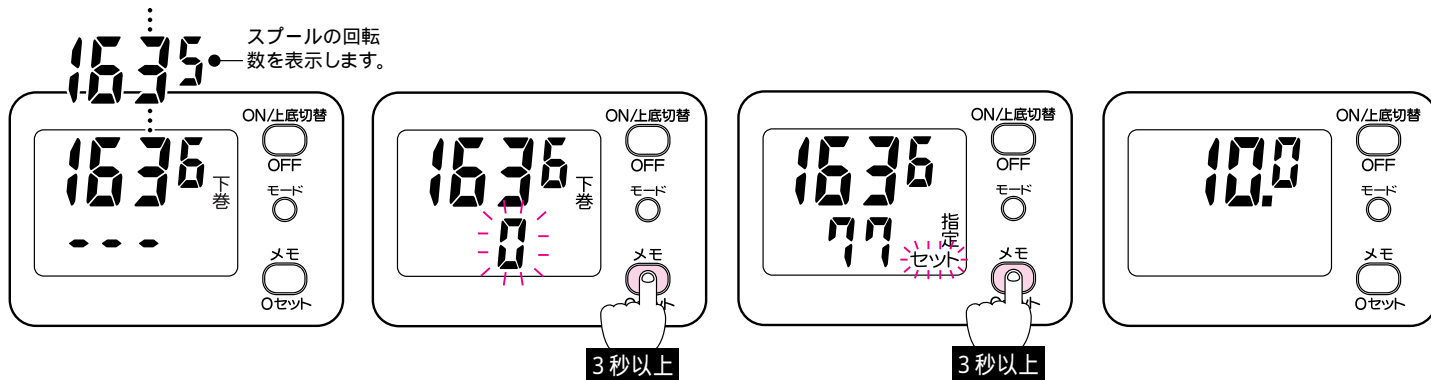
3秒以上

**3** 下巻き糸を巻き終えたら、メモ・  
0セットボタンを3秒以上押し  
てください。  
表示は図のようになります。  
巻き取った糸の先に上巻き用の  
糸を結びつけます。

**4** 上巻き糸の最初の10m分を巻き  
取ります。  
回転数が下段に表示されます。

**5** メモ・0セットボタンを3秒以上  
押ししてください。  
表示は図のようになります。





**6** 上巻き糸を学習するため残りの糸を巻いてください。回転数が表示されます。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。(約800gのテンションを目安にしてください。)

**7** 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)  
糸を出しすぎた場合は10mまで巻き取ってください。

**8** 回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セッ」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。この場合、糸を出して**1**からもう一度やり直してください。

**9** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。(糸をプログラムする時と実釣時とのテンションの差、及び糸の伸びなどにより、カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)  
誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

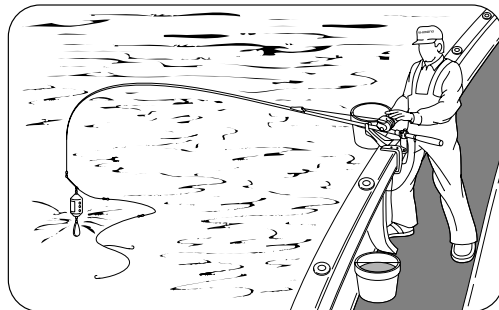
**10** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。巻き取る時、8m・6mで表示が点滅します。

# 0(ゼロ)セットの設定(釣りを始める前に必ず行なってください。)

## 3 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには正確な棚取りが不可欠です。  
そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定します。  
「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、  
正確な棚取りを可能にします。

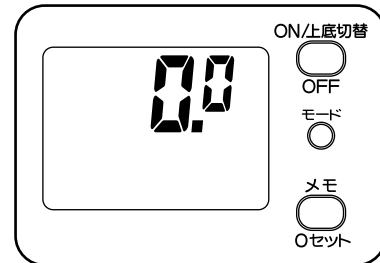
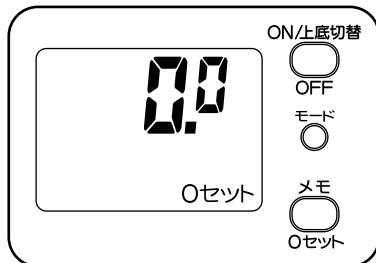
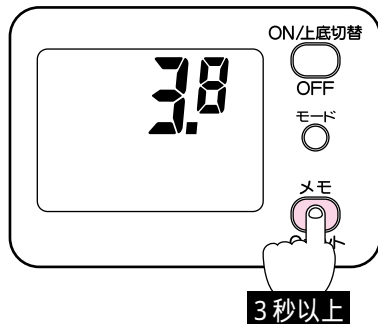


シカケが水面にある時を0mとして設定します。

- 1** シカケを水面に合わせ、0セット  
ボタンを3秒以上押して下さい。  
(図は上からモードになっています。)

- 2** 下図のように表示が変わります。  
(現在の水深が6.1m以上の時は、いったん  
メモとして受け付けますが、そのままボタン  
を3秒以上押し続ければ、再度0セットとして  
下図のように受け付け直されます。)

- 3** 0セットの表示が消えれば、これで  
完了です。



# 0(ゼロ)セットについて

## 4 0セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。

次に糸を出すと、マイナス表示からプラス表示へと変化します。

### 注意：

新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

## 5 高切れした場合。

高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度**3**の**1**、**2**の順で0セットを行なってください。

これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

# 2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード

## 6 棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」

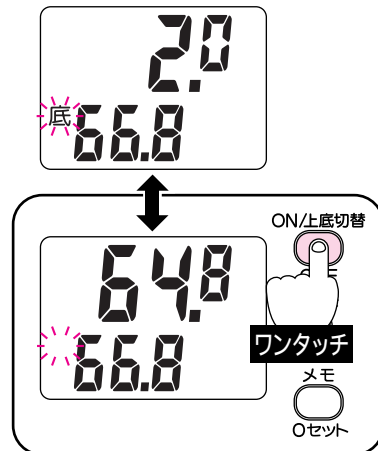
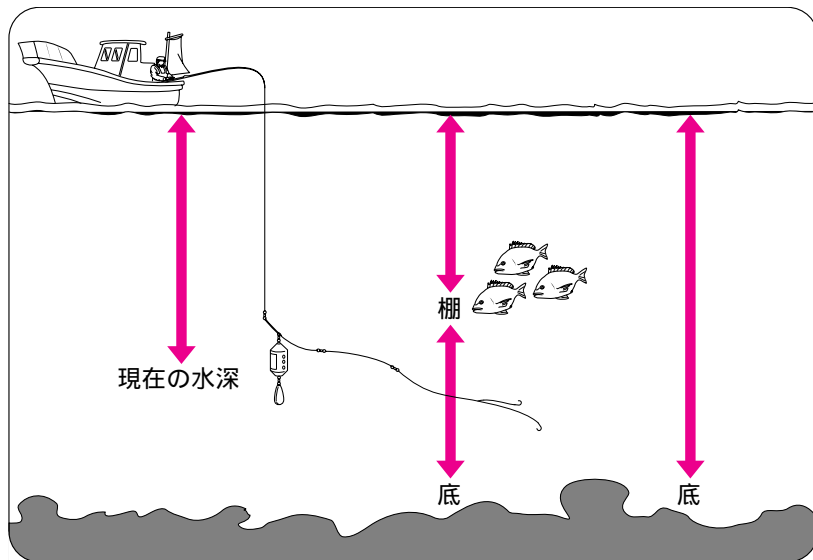
船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深(すなわち棚)にシカケを降ろすかということです。最近では高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。通常、船長がこの棚を教えてください。この場合釣場、釣り方、対象魚などによって水面から棚が指示される場合と、海底すなわち底から棚が指示される場合の二通りがあります。

NEW小船SLS-Cは、上から棚をとるのに便利な「上から

モード」と、底から棚をとるのに便利な「底からモード」の2つのモードを備えています。その日の釣りに合わせて切り替えてご使用ください。

### モードの切り替え方法

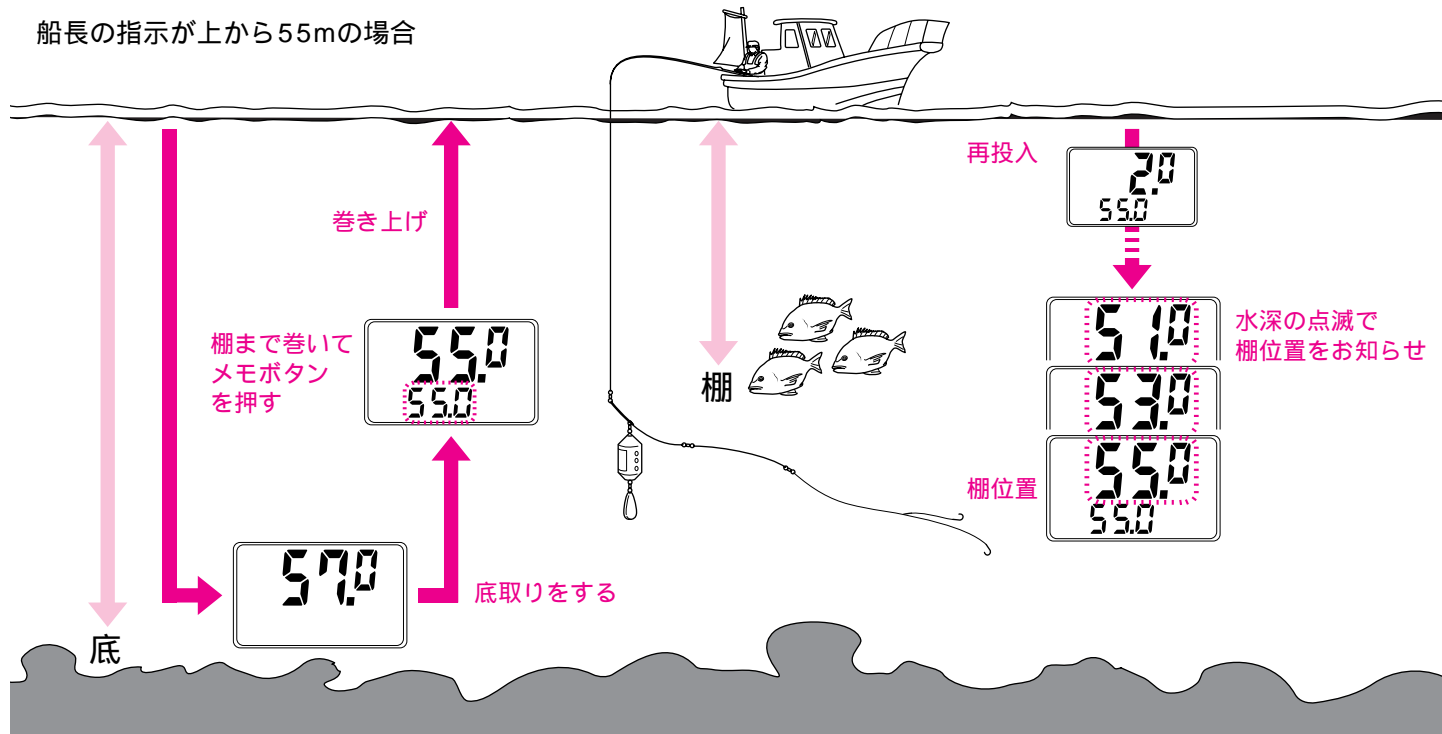
ON/上底切替・OFFボタンを押してください。「上からモード」と「底からモード」が押すたび交互に切り替わります。「底」の表示は底からモードです。表示のない場合は上からモードです。





# 上からモードの実釣編

船長の指示が上から55mの場合



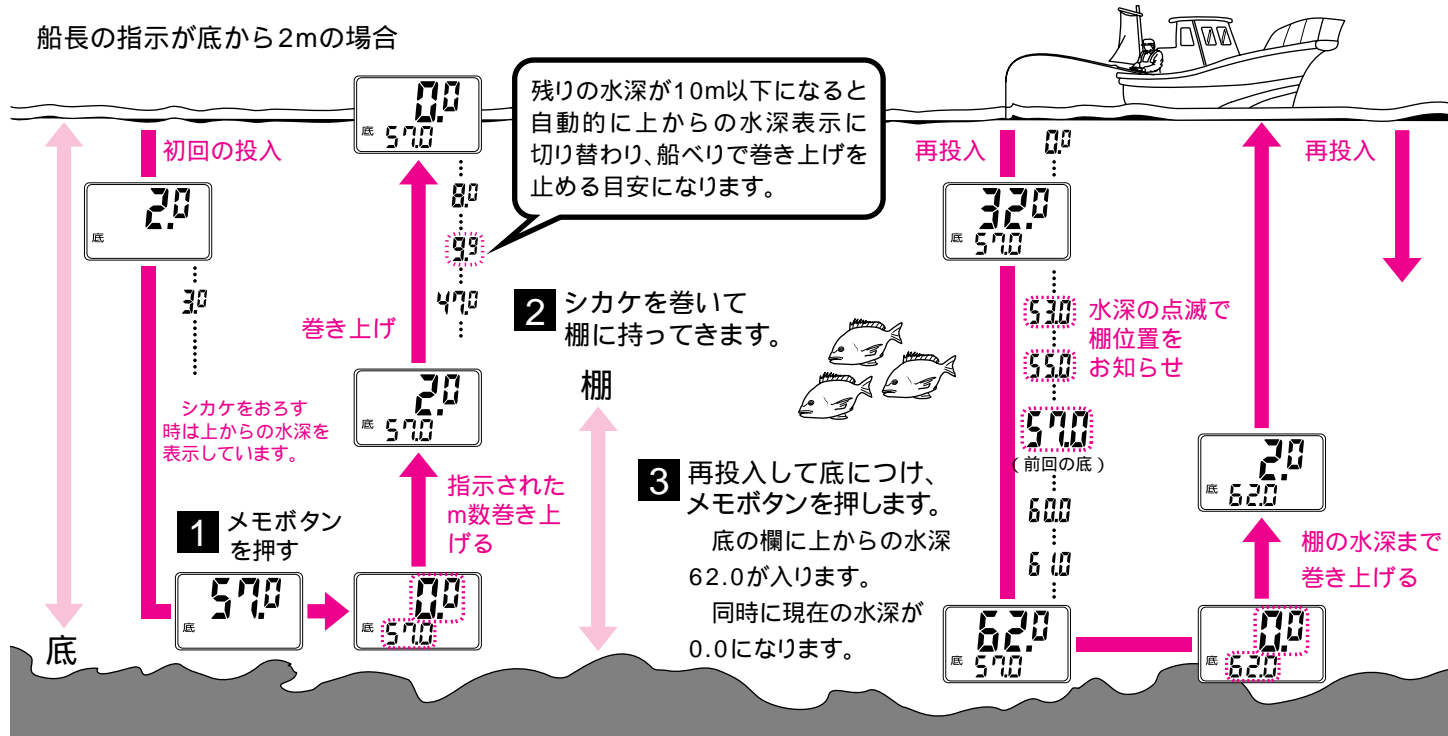
- 1 シカケをいったん底につけます。
- 2 シカケを巻いて棚に持ってきます。

- 3 メモボタンを押して棚をメモリーします。  
以上は底取りをして底の水深を知りたい場合ですが、直接指示の水深にシカケを投入し、メモボタンで棚をメモリーすることも可能です。

- 4 再度投入します。  
シカケを降ろす方向のみ、棚の4m手前、2m手前、棚位置で水深表示が点滅します。  
1回の上げ下ろしで、1回のみ点滅します。

# 底からモードの実釣編

船長の指示が底から2mの場合



残りの水深が10m以下になると自動的に上からの水深表示に切り替わり、船べりで巻き上げを止める目安になります。

初回の投入

1 メモボタンを押す

2 シカケを巻いて棚に持てきます。

3 再投入して底につけ、メモボタンを押します。底の欄に上からの水深62.0が入ります。同時に現在の水深が0.0になります。

再投入

再投入

シカケをおろす時は上からの水深を表示しています。

水深の点滅で棚位置をお知らせ

棚の水深まで巻き上げる

**1** シカケをいったん底につけ、メモボタンを押します。底の欄に上からの水深が入ります。同時にメインカウンターの水深が0.0になります。リールを巻き上げるとプラスにカウントし、底からの水深を表すようになります。

解説！  
船長の指示が「底から何m」といった場合、釣り人はシカケをいったん底まで降ろして指示されたm数だけシカケを上げます。（コマセ釣りの場合は通常この時にコマセを振ります。）底の状態の変化に魚が平行して付いている釣場では、シカケの投入のたびにシカケを底に着けてから棚を取り直します。

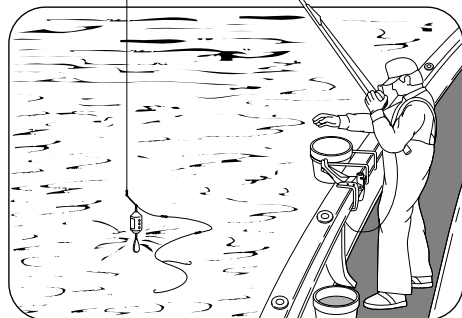
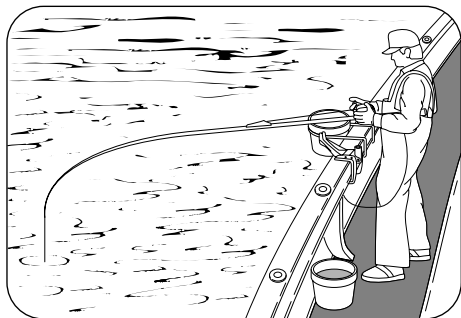
# 船べり停止位置お知らせの表示点滅機構

## 7 船べり停止位置が自動的にセットされ、点滅でお知らせします。

巻き上げを終えて竿を上げた時、シカケまたはコマセカゴが正確に手元に来ればコマセの詰め替え・エサ付けがスムーズに行なえ、手返しを早くすることができます。このリールでは、船べりで水深表示が点滅した時に竿を立てると、シカケが正確に手元にくるように自動的に設定されるようになっていきます。

船べり停止する水深が設定されたときは「セット」の表示が2秒間点灯します。

電源投入時初回のみ6mで船べり停止位置が設定されています。2回目以降はコンピュータが自動的に判断して、シカケは前回の投入の位置で自動設定します。(この機能は1m~6mの範囲で作動します。)



1回点滅



1回点滅



2回点滅

- 1 記憶した船べり停止位置よりも4m手前から、2mおきに点滅します。
- 2 3回目の点滅で、巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に来ます。

# 電池の交換方法

## 1 バッテリーアラームについて

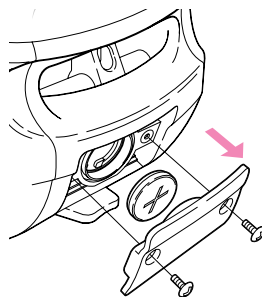
**B** マークが点灯しましたら電池の交換時期です。市販のCR1616ボタン電池をお求めの上、電器店もしくは釣具店で交換してください。なお、**B** マーク点灯後も釣行3～4回は使用可能です。“Err”の表示が出れば電池寿命です。

## 2 電池の交換方法

電池交換はあらかじめCR1616のボタン電池を購入の上、必ず電源をOFFにしてから行って下さい。

また、3分以内に作業を終了するようにしていただくと同時に、交換中はカウンターのボタンを押さないでください。入力されていたデータが消えることがあります。

1. バッテリーキャップの固定ネジ2本をゆるめ、取り外します。
2. 古い電池を取り出します。
3. 新しい電池を入れます。  
(手前側が+になるように)
4. バッテリーキャップを取り付け、固定ネジ2本をしっかり締めつけます。  
(パッキンを使用した防水構造になっていますので、パッキンに注意すると同時に、確実に取り付けてください。)
5. 電源をONし、正しく電池が交換されているか、学習データが保存されているかを確認します。



図は上からモード時の表示です。(底からモードの場合もあります。) メーカー出荷時にリールに組み込まれているものはテスト用電池です。同封されている新品の電池と交換してお使いください。

通常の使用で1年程度の電池寿命です。



正しく交換されている場合、下図のように表示されますが、正しく交換されていない場合は、下図以外の表示が出たり全く表示されなかったりしますので、電池の仕様、+、-、接触等を確認してください。

図は上からモード時の表示です。(底からモードの場合もあります。) 保存されていないと図の下段のような表示になります。保存されていなかった場合には、再度学習を行ってください。

(6～13ページ参照)

データが保存されている場合



データが保存されていない場合



### 交換時のご注意

電池交換は必ず電源をOFFにしてから行ってください。  
電池交換中はカウンターのボタンを押さないでください。  
屋内の湿度の低い場所で行ってください。  
バッテリーキャップを長時間開けたままにしないでください。  
電池の+、-をまちがえないようにしてください。  
リールに内蔵の電池はテスト用ですので寿命の短いことがあります。

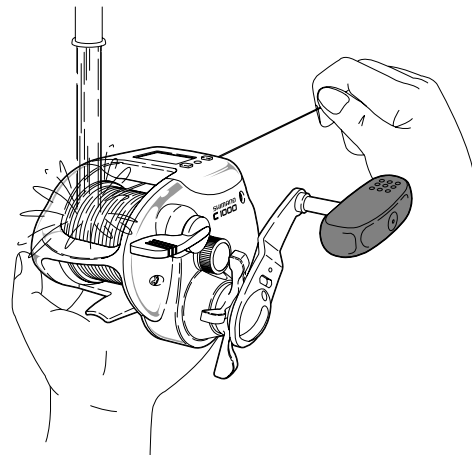
# お取り扱い上の注意

リールは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。  
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

## 1 リールのお手入れ方法について

この小船SLSはリールに付いたコマセなどの汚れを洗い落とし、簡単にメンテナンスできるシステムになっています。  
用意するもの：リール・中性洗剤・スポンジ

1. 水道水をリールにかけながら、洗剤を含ませたスポンジで汚れを落とします。
2. 水をかけて洗剤を落とします。スプールと本体の間に水をかけながらクラッチを切って道糸を2～3m出します。(右図参照)これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
3. 影干ししてよく乾燥させてください。  
水中に浸けて洗わないでください。



## 2 ご使用上の注意

根掛かりしたときには、竿やリールで無理にあおらないで、ハサミなどで糸を切るようにしてください。  
リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意下さい。  
リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

バッテリーキャップは電池交換時以外には開閉しないでください。

リール収納時に各スイッチボタンが押されたままの状態になりますと電池消耗を生じますので、収納時には各スイッチボタンに接触しないようにご注意下さい。

### 3 お手入れの方法

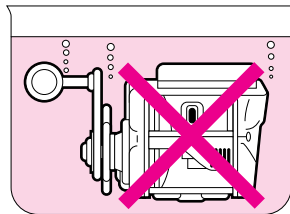
各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させて下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

リールは分解しないでください。特にライトサイドプレートは絶対に分解しないでください。

ドラグ部分には絶対オイルを付けしないでください。オイルが入るとドラグ力が低下することがあります。ドラグ部分には水が入らないようにしてください。

高温、高湿の状態では長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、左記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水に浸したりしないでください。(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水に浸したりしないでください。)



### 4 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には、書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

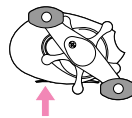
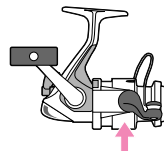
修理に出される際には、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが働かない)お知らせください。

また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社または釣具サービス課へお問い合わせください。

修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください。商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。

例/商品名 :バイオマスター1000  
製品コード :SC371000  
部品番号 :2  
部品名 :スプール

製品コードの位置  
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品(コードの上5ケタを表示しています)



# 仕様

## 5 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量(号-m) 新素材デュラPE糸使用	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ベアリング (ボール/ローラ)
小船SLS C800	RF440801	5.1:1	5	350	3-250 4-200 5-150	67	42/33	3/1
小船SLS C1000	RF441001	5.1:1	5	360	3-300 4-250 5-200 6-150	67	42/33	3/1

糸巻量の太字は指定糸です。

下巻ラインまで下巻すれば、下記の糸を巻くことが可能です。目安としてお使い下さい。


C800・・・3-200      C1000・・・4-200

標準付属品: 布袋、取扱説明書、分解図、スペア電池、下巻ゲージ、糸通しピン



使用電池: CR1616(電池寿命は普通の使い方です約1年)

ボールベアリングはシマノ独自の表面処理により防錆効果を飛躍的に高めた「A-RB(ANTI-RUSTBEARING)」を採用しています。

# 故障かな？と思われたときは

こんなとき	操 作	参照
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気(車のトランクの中等)にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
液晶が点灯しない。	ON/OFFボタンを押して下さい。他のボタンでは点灯しません。 電池切れ、+ - のまちがいなどを確認してください。	6、20
学習モードにならない。	モードボタンを何回か押して再度確認下さい。	6
学習セットにならない。	巻き取り長さが学習セット条件を満たしていないことが考えられます。 お手数ですが再度学習の上確認下さい。 30m以上の糸長さでの学習をおすすめいたします。	
ラインを送り出しても カウントしない。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。	6～13
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。 糸が伸びて不正確になっているときがあります。(特にナイロン糸)	6～13
液晶表示がうすい。	室温にて確認下さい。低温( - 5 以下 )にて使用の場合 電池の能力低下で表示がうすくなる場合があります。 そうでない場合は電池の寿命と考えられます。 バッテリーマーク  を確認の上、電池を交換してください。	20

表示が下図のようになるときは...

	電池の消耗によるものです。 学習データ保護のため、すみやかに電池を交換してください。	20
	電池交換時に学習データが保存されていなかった場合の表示です。 お手数ですが、再度学習をおこなってください。	6～13 20



# 安全上のご注意/サービスネット

## 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。



### 警告



ハンドルとボディの間に手をはさまれないように注意してください。  
けがの原因となります。



### 注意



糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切る原因になる恐れがあります。

逆転防止付リールでストッパーをOFFにして釣っているとハンドルが逆転し、手に当たりけがの原因になる恐れがあります。

レベルwind付リールでは、糸をリードするレベルwindの所に指を近づけて、釣りをしてください。指をはさまれて、けがの原因になる恐れがあります。

リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないよう注意してください。

リールを釣り以外の目的で使用しないでください。



回転している時、回転部分に触れないでください。けがの原因になる恐れがあります。

スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る原因になる恐れがあります。



糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないように注意してください。ヤケドや指をはさんでけがの原因になる恐れがあります。  
ドラッグ装置を長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなる恐れがあります。

## 株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 北海道営業所  
〒001-0034 札幌市北区北34条西10-6-21 TEL.(011)716-3301

株式会社シマノ 仙台営業所  
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(022)232-4775

株式会社シマノ 大宮営業所  
〒331-0052 埼玉県大宮市三橋2-684-1 TEL.(048)622-3815

株式会社シマノ 東京営業所  
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 千葉営業所  
〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11 TEL.(043)433-1780

株式会社シマノ 静岡営業所  
〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL.(0559)62-3983

株式会社シマノ 名古屋営業所  
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所  
〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4-85 TEL.(06)6418-4541

株式会社シマノ 岡山営業所  
〒700-0941 岡山市青江6-6-18 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 広島営業所  
〒734-0005 広島市南区翠1-11-6 TEL.(082)255-8143

株式会社シマノ 四国営業所  
〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL.(0875)23-2220

株式会社シマノ 九州営業所  
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

### 株式会社シマノ 釣具事業部

本 社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地

商品の性能、スペック、カタログ、イベントなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ)

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00

釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市築港新町1-5-15

商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ

TEL.(0722)43-2851 / FAX.(0722)43-2860

シマノホームページアドレスは <http://www.shimano.co.jp> です。

新製品やイベント、インストラクター情報などシマノならではのオリジナル情報を発信しています。

Printed in Japan 019

**SHIMANO**